

新型コロナウイルス  
対策二万全ツ本川

「直面する危機からの脱却」として、令和4年度も引き続き、当初予算に新型コロナウイルス感染症のまん延防止に向けた体制の強化や、県民の不安解消を図るための事業が盛り込まれました。

低減を図るために、送迎バスの運行を増便します。

## 一般質問で 県の姿勢を質す

具体的には、検査体制の確保などして、感染拡大傾向における無料のPCR検査を実施するほか、陽性が疑われる県民や、不安を抱える妊婦を対象とした検査も実施します。併せて、医療提供体制を確保するため、重症のコロナ患者を受け入れる専門病床の確保に引き続き取り組むとともに、「クラスター」（感染者集団）対策や県民からの相談にも積極的に取り組みます。

また、感染症専門人材の育成策に取り組み、入院医療機関における感染症予防や感染初期の拡大防止対策にリーダーとして対応できる人材の育成にも注力します。

感染拡大防止策では、福祉施設での取り組みとして、高齢者施設や障害者施設、児童養護施設などのクラスター発生時に、療養体制を確保するための看護師派遣をするほか、保育所や放課後児童クラブなどのトイレの乾式化や非接触型水栓の設置などへの助成も実施します。さらに児童養護施設などにおける個室化にかかる経費なども助成します。

ます。



**質問** コロナ禍の収束後、本格的な経済活動の再開に期待が集まります。世界では今、デジタル分野などが、成長が見込める分野への人材投入が盛んです。そのためには、働き手の「リスキリング」(学び直し)が不可

4月の組織改編に合わせ、福  
祉部障害者福祉推進課に置かれ  
ているバス・ボーツ担当を県民生  
活部スポーツ振興課に移設するこ  
とが決まりました。

がら、スポーツ部門を所管する県民生活部が一元的にパラスポーツを所掌することも選択肢の一つと考えます。パラスポーツの競技力向上は重要なものと認識しています。県としては、上尾市にスポーツ科学拠点施設の開設を考えていますが、多様なスポーツの競技力向上と県民の健康づくりを担う施設を目指しており、障害のある方も選手育成の対象にしたいと考えています。

**パラスポーツを本県のレガシーに質問** 本県でのパラリンピック開催を契機に、パラスポーツの振興を図るべきです。現在、福祉部が一元的に所管するパラスポーツの位置づけを見直すとともに、上尾市に設置予定のスポーツ科学拠点の一機能として、パラスポーツの選手育成を加えてみてはいかがでしょうか？

**県民生活部長** パラスポーツについては、福報的なアプローチも行いな

福祉部や保健医療部など関係する8部局で先ごろ、部局横断の「対策推進会議」を設置し、国の方針を踏まえて部局間における連携の強化や、民間・NPOなどと連携すべき取り組みの検討に着手している。

## あらい一徳の議会活動の成果 令和4年度の主な事業

私が県議会議員に就任した2011年以降、一般質問や予算特別委員会、決算特別委員会での質疑や要望活動などで提案・提言したことにより、令和4年度に実現することが決まった主な事業をご紹介いたします。

### ① 私学に通う家庭の負担軽減

総務部は令和4年度も、県内の私立高校に通う子どもがいる家庭のうち、年収720万円未満の世帯に対する補助として、授業料の実質無償化を継続します。また、年収600万円未満の世帯に対しても、入学金（10万円）の補助も継続します。

### ② エッセンシャルワーカーの処遇改善

保健医療部や福祉部などは看護師保育士、幼稚園教職員、介護施設や障害福祉施設職員などを対象に、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として処遇改善を実施します。

## 会活動の成果 令和4年度の主な事業

欠ですが、県として、今後の取り組みをどのように進めるお考えでしょ  
うか?

産業労働部長 ポストコロナにおいて、生産性向上させ、新たな価値

を創造していくため、県内中小企業のDXを推進していく必要があります。県の高等技術専門校で、さまざまなレベルに応じたデジタル人材育成メニューを設定するなど、工夫します。

現在、広く導入が進んでいるキャッシュレス化を考えると、証紙の廃止も考えるべきではないか?

県のキャッシュレス化推進策として、県民や事業者の利便性向上のため、電子申請システム利用時に、クレジットカードによる支払いを可能とするための環境整備を進めます。